星稜 サ・エ・ラ

seiryo çà et là 2012 No.26

inaokigakuen news letter

金沢星稜大学・女子短期大学部
新キャンパス完成!
新館の詳細は中面で!

巻 頭
創立80周年のご挨拶

特集1
星稜100年ビジョン策定 特別座談会

特集2
創立80周年記念事業 新キャンパス紹介

星稜教職員バトンメッセージ
星稜アレコレ
『親業』支援コラム「オトナのミカタ」
総合研究所・地域連携センターだより
星稜Information

創立
80周年
記念号

～稲置学園創立80周年～
80th
未来を輝らす、
星稜の人間教育。

創立80周年あいさつ

学校法人稲置学園 理事長 稲置 美弥子

稲置学園80年の歩み、そして未来

学校法人稲置学園は平成24年10月5日をもちまして創立80周年を迎えることとなりました。

この記念すべき日を園児、生徒、学生、保護者の方々、そして教職員とともに迎えられたことを大変うれしく思います。また、卒業生、地域の皆さまにはたくさんのご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝いたします。

おかげさまで記念事業のひとつであります新館建設も無事完成し、9月には女子短期大学部が「キャリアデザイン館」に移転し、キャンパスはますます活気に満ち溢れたものになりました。また、「メディアライブラリー」は、学生の皆さんの学業やキャンパスライフの充実に必ず役立つことと思いますし、地域の皆さまとの交流・協力の拠点となるよう育んでいきたいと思います。

学園では、今年3月に行われた星稜音楽祭「オペラ：ヘンゼルとグレーテル」を皮切りに様々な80周年記念事業を進めてまいりました。

これらの事業は、在校生や教職員はもちろんのこと、本学園に関わる多くの方々のご支援・ご協力がなければ成し得ませんでした。

心を一つにして記念事業に取り組むことで学園全体の絆が深まったことを本当に心強く思います。

これから稲置学園は、建学の精神のもと今回作成した「星稜100年ビジョン」の実現のために歩みはじめます。

教職員一同より一層切磋琢磨し、「星稜の人間教育」を未来へつなげてまいります。

★ 稲置学園創立80周年記念　SEIRYO SPORTS DAY

星稜スポーツのDNA　～星稜スポーツの80年とこれから～

これまでに「星稜スポーツ」は、オリンピックやワールドカップなどの日本代表選手、野球選手やサッカーのプロ選手など、多くのトップアスリートを輩出してきました。

また、アスリートのみならず、社会の様々なステージで活躍する人材も輩出してきました。

勝負に勝つこと、人を育てること、この2つの課題に挑み続けることで育まれた星稜スポーツのDNAを学園内で共有すると同時に、広く社会に発信し、地域のスポーツ振興に寄与する契機とします。

開催日：平成24年10月27日（土）13：30～16：00（13：00開場）
場　所：金沢星稜大学内　稲置講堂（稲置記念館5階）
参加費：無料

【お問い合わせ】学園創立80周年記念事業事務局　TEL：(076) 253-3104　FAX：(076) 253-3993　E-mail：80th-inaoki@seiryo.jp

シリーズ
稲置学園
80周年
にむけて
第5回

【星稜100年ビジョン検討委員会】左より、田島良輝、木村正信、須田華子、高柳美帆、稲置慎也、井下桂子、廿日岩均、宮本翔悟、永松宏之、坂野健夫

星稜100年ビジョン策定 特別座談会

星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。

「星稜100年ビジョン宣言」に込めた思い

創立から80周年を迎えた、学校法人稲置学園。この節目を未来へのスタートラインとして捉え、100年へ、その先へ向けて学園が目指す将来像「星稜100年ビジョン」が策定されました。その策定において大きな役割を果たしたのが20～30代を中心とした若手教職員からなる「星稜100年ビジョン検討委員会」です。今回は、その検討委員会メンバーが集って学園の未来と「星稜100年ビジョン宣言」への思いについて語った模様をお送りします。

星稜の人間教育を、
地域へ、世界へ。

「星稜100年ビジョン」策定の経緯と今後

司会・稲置慎也委員長（以下：稲置）　まず「星稜100年ビジョン」策定の経緯について振り返りましょう。根底にあったのは、この創立80周年を、過去を振り返るだけにはしたくないという思いでした。この機会を、学園がさらに未来へと羽ばたくためのスタート地点としたかったのです。そこで20年後、100周年の時に学園や各設置校がどうあるべきかを明確にし、学園全体で目指すべきビジョンとして宣言することにしました。その将来像について議論・検討を重ねたのが、私たち「星稜100年ビジョン検討委員会」です。メンバーは各設置校の教職員から、100周年を迎える際に学園の中心となっているだろう20代・30代の若手教職員11名を選出しました。

検討委員会では、それぞれの立場からさまざまな意見が寄せられました。検討会議を重ねること13回。そこでまとめられたビジョンの案に再検討が加えられ、ようやく完成したものが「星稜100年ビジョン基本方針・5つの柱」です

星稜100年ビジョン
星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。

星稜100年ビジョン基本方針・5つの柱

1 グローバルに活躍できる人材を育成する。
2 総合学園としての一貫した教育を行う。
3 地域・社会とともに発展できるネットワークづくりを行う。
4 充実した施設に恵まれたキャンパスづくりを行う。
5 総合学園を最大限に活かす経営基盤のさらなる確立を行う。

今後、この基本方針に沿ってビジョンの実現を目指し、学園全体・各設置校が中期的に取り組むべき課題の整理を行います。そして「中期実行計画（5カ年）」として取りまとめ、来年度より実行していく予定です。

以上が、「星稜100年ビジョン」策定のあらましです。このビジョンには、検討委員会メンバーそれぞれの未来への思いが込められています。「星稜100年」に寄せる思いや夢をあらためて語っていただこうと、今日は再度メンバーの皆さんに集まっていただきました。

自ら学び行動することができる人間を育むために
～「星稜の人間教育」とは～

稲置　「星稜100年」に向けた大きなテーマとして、(1)教育の質の向上、(2)地域への貢献、(3)学園の一体化、の3つが挙げられます。その中でももっとも重要なのは「教育の質の向上」でしょう。建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」に掲げられている通り、稲置学園が創立以来ずっと大切にしてきたのは、人間教育の理念です。これはこの先も変わることがありません。

では、これからの時代に求められる人間教育とは何でしょうか。私たちはその答えのひとつを「自立心を持ち、自ら考え行動できる人間」を育てることではないかと考えました。その上で、幼稚園、中学・高校、短期大学部、大学、それぞれの教育現場でどのような取り組みを実施していくことが求められるのかを具体的に議論してきました。

坂野健夫（以下：坂野）　高校で化学を担当しています。自主性という点で最近の生徒を見て感じていたのは、「やらされている」学習が多いのではないかとの思いです。もちろん、特に基礎を身につける場面では強制的に、教師主導で学習させることも必要です。しかし基礎を身につけた後は、生徒たちが自ら興味を持って学習していくことが重要ではないでしょうか。

そこで私は現在、実験的に「生徒が自発的に取り組むプリント教材づくり」に注力しています。職員室に課題のプリントを置きますが、生徒たちには一切強制をしません。生徒が自由に持っていき学習するというスタイルです。この時、私は強制をしない代わりに、「これを学ぶことにどのような意義があるか」を生徒たちにプレゼンテーションします。また、やる気のある生徒のために複数の課題を用意したり、習熟度にあわせて難易度の違う教材を作成したりしています。知識を教えるのではなく、学ぶことの価値や楽しさを教えることで、生涯学び、成長していける人間性を育んでいきたいと考えて始めたことです。星稜中

稲置慎也 稲置学園理事　創立80周年記念事業企画・実行委員長　稲置慎也

学・高校では現在、この取り組みを数名の先生が実践しています。

稲置　生徒たちの反応はどうですか？また今後の課題についてどのように考えていますか？

坂野　今のところ、この取り組みに生徒たちはとてもいい表情で反応してくれていると感じています。しかしながら、生徒のやる気にばらつきがあるのも事実です。積極的に学ぼうという意欲が薄い生徒に対してどうアプローチしていくかが今後の課題ですね。

　高校は、やはり志望大学に合格することがいちばんの目標で、教員もそれを一生懸命サポートしています。しかし難関大学に何人合格したという実績も大事ですが、もっと大切なのは大学に進学してから、社会に出てからも学び続けること、自ら考えて行動できることのはずです。大学合格の先、生徒たちが社会でどのように活躍してくれるかで、私たちの教育は評価されると考えています。

星稜中学校・高等学校　坂野健夫 教諭

井下桂子（以下：井下）　金沢星稜大学では、「SEIRYO JUMP PROJECT」を2年前から始めています。この取り組みでは、地域活性化・国際交流・学生支援・大学活性化・地域貢献のいずれかのテーマで学生たち自身が「挑戦したいこと」を企画としてまとめてプレゼンをし、採択されたプロジェクトに対して大学が活動資金を支援します。いわば学生たちのチャレンジ精神を育み、また実現のチャンスを用意するプロジェクトです。現在も採択された複数のプロジェクトが活動しています。

　このSEIRYO JUMP PROJECTを開始したことで、一部の学生たちにはとても前向きな姿勢が見えてきたと感じています。企画からプレゼンまでしっかりと考えてくる学生チームも多くあり、一度採択されなかった企画を練り直して今年再チャレンジしてくれたチームもありました。この取り組みの目的は学生たちがプロジェクトを成功させることよりも、「自分を超える力をつける」ためにチャレンジしてもらうこと。今はまだ2年目ということもあって、参加は一部の積極的な学生に限られていますが、今後はより多くの学生、一歩踏み出すのを躊躇してしまうような学生たちも、このチャンスを活用してもらえる環境を作っていきたいと思っています。

稲置　大学教員の立場からは、このSEIRYO JUMP PROJECTにどのような印象を持っていますか？

田島良輝（以下：田島）　まだ「学生の成長を実感できた」という段階ではありません。というのも、多くのプロジェクトは教職員が働きかけて初めて学生が考え、活動しているのが現状だからです。しかし、だからこそこのような制度は必要だと考えています。大学4年間はすぐに終わってしまう、何かに取り組まなきゃという気づきと、挑戦する機会を与えた点に大きな意味があると思います。

宮本翔悟（以下：宮本）　私が金沢星稜大学の卒業生として思うのは、今の学生には私の在学当時と比較して「きっかけ」がたくさん用意されているということです。私が学生の頃は、学友会などに所属している一部の学生を除いては、大学と自宅の往復で大学生活を終えてしまう人も多かったと思います。今は、大学生活を充実させるため、人間的に成長するために一歩踏みだすきっかけがたくさんある。それが今の金沢星稜大学のいいところではないでしょうか。

　大学同窓会では、社会で活躍する若手の同窓生が学生に向けて現在の仕事や活動を学園祭で披露するという機会を作っています。これもまた、学生の皆さんにとっては自分の将来を自主的に考えるきっかけのひとつになるだろうと思っています。

高柳美帆（以下：高柳）　星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園には、金沢星稜大学人間科学部の学生の方々が自発的にボランティアに訪れてくれています。今までも実習生を受

金沢星稜大学附属星稜幼稚園　高柳美帆*教諭

け入れてきましたが、自ら手を挙げて手伝いたいと言ってくれる学生が増えました。園児も若い学生さんたちと遊ぶのを楽しみにしていますし、私たち教員にとっても学生ならではの発想に刺激や閃きを与えてもらうことが多くあります。両幼稚園が附属化した効果も大きいと思いますが、大学生が自発的・積極的に幼児教育の現場に来てくれるのは、私たち幼稚園にとっても彼ら学生自身にとっても非常によいことだと思います。

須田華子（以下：須田）　学生の自主性を育む取り組みとして、女子短期大学部では「ＭＫＰ」という学生活動を3年前から始めています。ＭＫＰでは、たとえばオープンキャンパスの企画・運営の一部を学生メンバーに任せたり、授業で習ったビジネスマナーを皆の前で発表するマナーコンテストを実施したりといった活動を行っています。学生たちが主体となり活躍できる場を提供しようとする取り組みですが、何よりＭＫＰに参加した学生の成長は目覚ましいですね。オープンキャンパスでは高校生に星短の魅力を知ってもらおうと工夫を凝らし、終了後にも学生が率先して反省会を開いて、さらなる改善のために活発な議論が行われています。またＭＫＰでは1年生と2年生が共同で取り組む機会が多く、学内に縦のつながりが生まれていることも大きなメリットです。

　ただこちらも、自発的に参加し活動しているのは一部の学生だけという課題が残されています。ＭＫＰのような学生の活躍の場を増やしつつ、参加する学生の幅も広げていきたいですね。

国際的に通用する教養を身につけたグローバル人材の育成

稲置　「自ら考え行動できる人間」を育てることは、学園創立から変わらない我々の教育目標であり、星稜の人間教育の重要な一面です。一方で、新しい時代だからこそ求められる人物像もあります。それが「グローバル化に対応できる人材」です。１００年ビジョンの議論を続けてきた2年間にも、社会のグローバル化はますます進展してきました。企業が公用語を英語と定めたり、海外留学生を積極的に採用したりということも珍しくはなく、教育機関においても、たとえば東京大学で国際基準に対応するため９月入学が検討されています。グローバルな人材の育成は社会からの強い要請であり、この北陸地域も例外ではありません。これからの「社会に役立つ人材の育成」のために、グローバル人材養成への対応は急務だと考え、ビジョン基本方針の最優先項目としました。

金沢星稜大学 経済学部　木村正信 准教授

木村正信（以下：木村）　グローバルな人材の育成という観点から見ると、日本の多くの大学がそうであるように、金沢星稜大学の状況も「遅れている」と言わざるを得ません。学生にも外国に関心を持っている人は少ないと感じています。おそらくまだ「日本にいれば大丈夫。外国と関わらなくても生きていける」という認識がありますね。しかし日本経済の現状では、今後も進む少子高齢化で企業が外国人を雇うことが増えることが考えられますし、地方の企業であっても外国の拠点で現地の人と仕事をしなければならないという場面も増えるでしょう。社会に出て遅れを取らないように学生の時から海外に関心を持ってもらうことが出発点ではないかと考えています。

　本学では、昨年から短期留学、本年度から長期留学の制度をスタートさせています。今年は2人の学生がカナダのナイアガラ大学に８ヶ月間の長期留学に行ってい

ます。提携校も現在はまだ少ないですが、どんどん拡大して、学生が海外に関心を持てる環境を整えられたら、と考えています。

井下　短期・長期の留学制度は始まったばかりなので「まだまだこれから」という段階ですが、入試制度や語学研修プログラムなどのサポート体制は徐々に整いつつあります。英語教員の努力もあり、TOEICなどで高得点を取る学生も増えてきました。今後も学生に海外への関心を持ってもらうために、また実際に海外へ出て成長してもらうためにどのようなサポートができるのか、いろいろな場面で検討していきたいと思っています。

永松宏之（以下：永松）　中高の英語担当教員として、先日までオーストラリアでの語学研修へ生徒を引率してきました。渡航前には「ホームステイが不安」「現地の英語の授業についていけるか不安」などの声が生徒や保護者からありましたが、現地での語学研修を終えて帰国する頃には「参加してよかった。親や学校に感謝したい」という言葉が生徒たちから出てきました。私も、外国やそこに暮らす人々と触れあう経験が、生徒全員を大きく成長させたことを実感できました。

　では、どのタイミングで留学経験を積むのがよいのでしょうか。高校生は大学入試を控えていることを考えると、まずは中学生で一ヶ月程度の滞在をするのがよいのではないかというのが私の考えです。そこでは英語の日常会話に触れることを目的とし、大学に進んで自分の専門が定まってから再度長期の留学をするのがよいのではないでしょうか。いずれにしろ、総合学園である利点を活かして、トータルでの英語教育のあり方を検討していけたらと考えています。

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 事務局 学生支援課　井下桂子

木村　一方で、教職員も国際化に対応する必要があります。教員が提携校に赴いて実際に教えたり研究するシステムがあれば、グローバル人材育成の環境をより充実させることができるだろうと思います。

坂野　高校にはエチオピアでの青年海外協力隊の活動から帰ってきた先生がいます。海外でいろいろなことを吸収し、その経験を生徒たちに伝えることができれば、人間教育、グローバル教育にも大きな効果があるはずです。教員の海外研修に学園としての支援制度があれば嬉しいですね。

稲置　「星稜の人間教育」がどうあるべきか、そして「グローバル人材の育成」をどうしていくかは、教育現場にとっての大きな課題に違いありません。今後も設置校を超えて議論を継続し、実践・改善しながら、総合学園として一貫した教育の根幹、いわば「星稜学」として発展させていきたいという思いを強く持っています。

　なお、80周年記念事業「星稜教育シンポジウム」では、「学園教育シンポジウム」として幼稚園から大学まで各設置校の教育方針や今後についての共通理解を試みる予定です。また「国際シンポジウム」では日本国内外で活躍している卒業生を招いてお話をうかがい、学園の存在意義を再確認する場にしたいと考えています。

地域・社会とともに発展していける ネットワーク構築

稲置　稲置学園は、北陸に生まれて地域と一緒に発展してきた学園です。地域社会を中心に、活躍する卒業生も

星稜中学校・高等学校　永松宏之 教諭

星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。

5万人を超えています。これからもこの北陸で必要とされる学園として地域の方々にご支援をいただくために、学園としてどのように地域と関わっていけばよいか。この点についても大いに議論を重ねました。

星稜が持つ地域への思い。その象徴が80周年記念事業として建設されたメディアライブラリーと言えるでしょう。この新館は大学キャンパス前の通りに面し、広く一般の方々にも開放されます。ここを窓口として、より密接に地域の皆様と関わっていけたらと期待しています。

さらに、地域貢献の拠点となる「星稜コミュニティセンター」の設立構想も生まれました。

永松　星稜コミュニティセンターは、施設というよりも「地域に向けて機能する仕組み」ですね。まちづくりや地域研究、生涯学習の場、防災拠点など、星稜が地域のニーズに応えていくためのさまざまな機能を充実させてはと考えました。

高柳　幼稚園の保護者に限らず、地域には子育て中の母親がたくさんいらっしゃいます。星稜コミュニティセンターがそんな地域の母親たちの情報交換の場になればいいなと思っています。学園には子育ての専門家がおり、幼児教育を学ぶ学生もいますから、地域の子育てステーションとして気軽に相談ができたり、一時預かりができたりなどの仕組みがあれば、大きな地域貢献活動になるでしょうね。

宮本　ボランティア活動やインターンシップなど教育面での連携、協力関係を作る窓口としても機能させたらよいと思います。そのためにも地域で活躍する卒業生との関係強化は重要です。センターがOB・OGとのコミュニティ拠点という役割も果たすことで、地域や企業とより強い関係を結べたら、と期待しています。

木村　地域ニーズの受け皿ということですが、自治体や企業がさまざまな分野で大学に協力を求めることがあります。最近のニーズは分野を跨いでいることも多く、たとえば観光についての依頼であれば、まちづくりや歴史・文化、環境、統計など幅広い角度から見なければなりません。経済学部と人間科学部しかない本学は他大学との連携も重要となります。そのマッチングを星稜コミュニティセンターが担ってくれるといいですね。また大学への協力依頼の窓口を星稜コミュニティセンターで一本化し、多彩な教員に分配することでより効率的な対応ができるのではないかとの思いもあります。

田島　すでに大学には「地域連携センター」が設立され、研究・教育・社会活動をリンクさせた取り組みに力を注いでいます。現在も「自治体とともに地域振興に取り組む」、「金沢市内の小学校や幼稚園に芝生のグラウンドを整備する」、「地域スポーツの観客増員を図る」などの、地域の課題を解決するさまざまな教育プログラムを実践しています。

現在はまだ、学生にとっては「体験レベル」に過ぎないという課題もあります。これを実際に学生が中心となり地域の方々と話し合って課題を発見し、解決していく「教材レベル」に引き上げることが求められるでしょう。

稲置学園 経営企画室　宮本翔悟

総合学園であることを最大限に活かす経営基盤の確立を

稲置　80周年のスローガン「未来を輝らす、星稜の人間教育。」には、「これまでもこれからも誠実に、地域とともに」という言葉が続いています。学園としての地域貢献、また地域に役立つ人材の育成もまた、学園の未来を考えるうえで重要なテーマです。学園の資産を地域の発展に活かすべく、その方法について今後も検討していかなければなりません。

稲置　ここまでにもすばらしい意見が多くありましたが、どんなにいい企画であっても経営基盤が確立していなければ何ごとも実現はできません。もちろんすべてを同時に実現することはできませんから、経営資源の選択と集中を考え、中長期的な視野でひとつひとつを着実に実現していくことが重要です。

廿日岩均　学園の財務を担当する職員として、経理面から学園の全体を見てきました。100年ビジョン基本方針でも「教育施設に恵まれたキャンパスづくり」が掲げられていますが、現実問題としてよりよい教育環境を実現するためにはお金が必要になります。そこで重要になるのは、財務の効率化・合理化です。

100年ビジョンでは、学園経営の中長期計画・財政指標の策定にも踏み込んでいます。具体的には、金沢星稜大学・短期大学部・附属幼稚園からなる「大学グループ」と中学校・高等学校の「高校グループ」とし、財政上の2本柱と位置づけて、経営資源を有効活用し、効果を

最大化することを目指します。

設置校それぞれに、施設整備費など予算の分配については希望があるでしょう。皆いい学校にしたいと考えているのですから、それは当然のことです。しかし、学園全体を見た時の優先順位について、これまであまり考えられなかった点に問題があると感じていました。それぞれの設置校が希望と意見を出し合い徹底的に議論、検討した上で、どのような順番で実現していくのかを中長期的に計画し、5年後・10年後の方向性を共有していくことが大事だと思っています。学園全体を見渡せる経営の「見える化」と情報の共有が、今後学園を発展させるためには不可欠だと考えています。

稲置　保護者の皆様から預かったお金を、どう活用していくのかは非常に重要な問題です。その活用法について、開かれた議論ができるようにしていきたいものです。その年に認められる案と認められない案がある場合に、ちゃんとその理由の説明ができ、各校の教職員が納得できる環境づくりをしなければならないと考えています。

稲置学園 財務課　廿日岩均

学園の一体化を実現し、同じ未来を全員で目指していく

稲置　3つのテーマのひとつである「学園の一体化」促進は重要な課題です。80周年の記念事業では、設置校の枠組みを超えて、また教職員や園児・生徒・学生、保護者や卒業生などの立場を超えて、より一体感のある学園を目指した取り組みが行われています。

80周年オープニングイベントとして実施した「星稜音楽祭」（オペラ：ヘンゼルとグレーテル）は、学園の一体化と地域社会への貢献の両方を成し遂げたよい事例になりました。

また今後に控えた「星稜教育シンポジウム」や「SEIRYO SPORTS DAY」も、教育・文化・スポーツを通じて学園の一体化を図ることが大きな目的のひとつとなっています。

田島　スポーツの応援を通して、例えば「前に一歩踏み出す勇気」という星稜スピリットを学園全体で共有する。これもスポーツの持つ魅力であり、可能性ですね。

10月27日に行われるSEIRYO SPORTS DAYは、松井秀喜選手や本田圭佑選手、8人ものオリンピック選手を輩出した星稜スポーツのDNAについて話し合うフォーラムです。過去の星稜のスポーツを通して、学園の未来を話し合う場にしたいと考えています。

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 事務局 庶務課（兼）進路課　須田華子

宮本　学園が一体化して皆が目的意識を共有するという前提があって、それぞれが役割を果たして自己成長を図っていく。そのためには職場環境の整備も必要だと思います。人事制度もそうですが、教職員のスキルアップをサポートする研修制度も整備されたらいいですね。私たち職員も学外の研修などに積極的に参加したいという意欲を持っています。また大学のエクステンションセンターで資格を取得する際の支援や報奨制度などもあればいいと思います。

稲置　そうですね。教職員の皆さんが前向きに、また安心して働ける学園にしていかなければなりません。目指す将来像を実現するために「こんなことをやりたい」と自由に考えたり、発言できる環境を整えていきたいと考えています。

この「星稜100年ビジョン検討委員会」でも、皆さんから多くの意見や企画が提起され、100年ビジョンと

星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。

してまとめられました。そこに込められた皆さんの思いを着実に実現していきたいというのが、私が今第一に考えていることです。

今回80周年を迎えるにあたり、「星稜100年ビジョン」実現のために学園の全教職員が心をひとつに行動するとともに、その姿勢を対外的にも広く伝えるためのシンボルとして、「星稜コミュニケーションマーク」を策定しました。このマークは、学園全体の投票で決定したものです。「星稜」の中の星には「輝く人材を育成する」という誓い、「北陸の地で輝く学園でありたい」という思いを込めています。

建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」と、星稜100年ビジョン「星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。」を胸に刻んで、学園の力を結集して、未来へと歩んでいきましょう。

金沢星稜大学 人間科学部　田島良輝 准教授

「星稜100年ビジョン」パンフレットを作成しました。

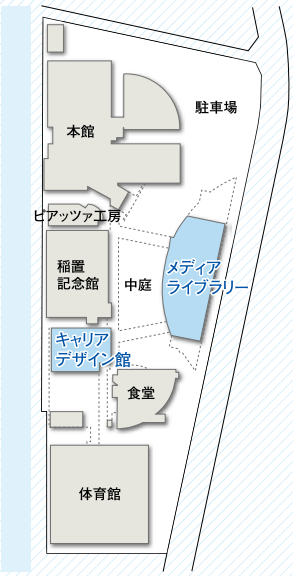
稲置学園創立80周年を機に策定された「星稜100年ビジョン」を、一冊のパンフレットとしてまとめました。
80周年記念式典などで広く配布されます。

ホームページでも公開しています。http://www.seiryo.jp/80th/

Since 1932
星稜

星稜コミュニケーションマーク

「星稜100年」への思いを込めて策定された星稜コミュニケーションマークは、学園の全構成員が心をひとつにするシンボルとして、また学園の地域・社会とのコミュニケーション活動を強化するものとして今後広く活用し、「星稜ブランド」の価値を高めていきます。



新キャンパス紹介

メディアライブラリー
キャリアデザイン館

稲置学園創立80周年記念事業として、金沢星稜大学キャンパス内にふたつの新館「メディアライブラリー」と「キャリアデザイン館」が建設されました。「自分を超える力をつける」ステージにふさわしい、明るく機能的な都市型キャンパスの誕生です。

完成!

メディアライブラリー

大学前の通りに面した、稲置学園の新しい顔がこのメディアライブラリーです。前面の透明感あるガラスカーテンウオールと木製ルーバー、左右のピロティによるゲートが明るく洗練された雰囲気で学生たちを迎え入れます。

屋上デッキは星稜高等学校サッカー場での試合を観戦できるよう考慮されています。

キャリアデザイン館

短期大学部・進路支援センター・エクステンションセンターを中心とする施設で、中庭側はガラスカーテンウオールの洗練された印象を、金腐川側は木の柔らかな印象を演出し、周辺環境との調和を図っています。

キャリアデザイン館とメディアライブラリーは中庭上空の渡り廊下でつながります。

メディアライブラリー

メディアライブラリーは、新しい図書館を中心とした施設です。
学生たちの学習の場として充実した環境を提供します。

図書館

閲覧フロア

閲覧フロアは1・2F吹き抜けの大空間。明るく開放的な雰囲気の中で学ぶことができます。座席数270席、蔵書13万冊を超える図書館です。

視聴覚ブース

映像資料・作品を視聴できるブースが備えられ、DVDなども充実しています。

グループ学習室

大人数での学習やミーティングに活用されるグループ学習室も併設されています。

デジタルラボ

ハイビジョン映像編集など高度な作業も可能な大型高性能パソコン7台を備えています。

情報演習室

情報関連の講義が行われるパソコン教室には、大人数の授業でも十分な台数のパソコンが用意されています。

セブンイレブン星稜店

メディアライブラリーにセブンイレブンが開店。キャンパスライフの利便性が高まりました。

メディアラウンジ

ゆったりとしたラウンジ空間は、学生たちの自習・談話スペースとして活用されます。

キャリアデザイン館

キャリアデザイン館には短期大学部のほか、進路支援センターや
エクステンションセンターなどを配置。学生たちが将来を考える基盤となる施設です。

進路支援センター

金沢星稜大学カウンター

進路支援センターでは、大学・短期大学部の就職支援窓口を併設。学生にとって就職活動のベースとなる施設です。

金沢星稜大学女子短期大学部カウンター

「れでぃ・せっと・ごー」

女子学生の就職活動を支援するため、広々としたメイクルームが完備されました。

「きんぎょ鉢」「ビードロ」

キャリアデザインに活用されるふたつの教室は「きんぎょ鉢」「ビードロ」と名付けられています。ふたつの教室をつなげて大教室としても活用できます。

エクステンションセンター

エクステンションセンターでは学生の資格・免許取得をサポート。公務員・税理士・教員などを目指す学生のためのCDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）も開講しています。

個別学習室

エクステンション講座・CDP受講学生のための個別学習室も完備しています。

多目的階段教室

およそ100人を収容できる多目的階段教室では、大学・短期大学部の授業のほか、地域に開放されイベントなどに活用される予定です。

金沢星稜大学女子短期大学部

キャリアデザイン館4・5Fは短期大学部の専用フロアとなり、教室のほか
テラスやラウンジなど学生たちの交流スペースも充実しています。

教室

短期大学部専用の大小さまざまな教室が整備されており、多様な授業形態に対応が可能となっています。

ラウンジ

短期大学部ラウンジは女子学生のみに開放されるくつろぎのスペースです。

愛することが、こどもの心を育んでいく。

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
谷口美香 教諭

人と比較するのではなく個性を認めることが大切

こどもと接する上で、いちばん大切なのは愛情を注ぐことだと考えています。幼い時期にたくさんの愛情を受けたこどもたちは、家族はもちろん、周りのこどもたちにもたくさんの愛情を持ち接することができます。だから、一人ひとり違うこどもたちの個性を認め、愛情を持って接することを心がけています。

保護者の方々の中には、どうしてもご自分のお子様と他の子を比較してしまうというお母さんがいます。私自身も子育てを経験していますからその気持ちもよくわかりますが、幼いお子様にとって大切なのは誰かと比較することではなく、その子なりの個性や成長に目を向けて愛することです。

私の好きな言葉に、金子みすゞさんの「みんなちがって、みんないい」というものがあります。こどもの個性や成長具合はまさにこの通り。個性を認めて愛情を注ぐことでこどもの心は育っていくのだと思います。

また幼稚園は、お子様にとって最初の集団生活です。保護者の皆さんにとっては、こども同士の人間関係も心配事のひとつでしょう。ですが、いい思いだけをしていては人の心は決して育ちません。摩擦も含めたこども同士のやりとりの中で、人として生きていくために大切なコミュニケーションの心を育んでいる。そう考えて、温かく見守っていただけたらと思います。

幼い時から知識を詰め込むのではなく、心をのびのび育てるのが星稜の教育です。

愛情で心を育てる星稜の教育を守りたい

"星稜"の幼稚園のよいところは、この「心を育てようとする姿勢」だと考えています。こども本位に考え、こどもたちの自主性や発想を大切にし、いずれ社会人になって活かされる人間性の基礎をつくる。その教育が星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園に共通する教育の特徴です。

幼稚園教諭になって27年、幼児教育を取り巻く環境もいろいろと変化しました。しかし、心を育てるという星稜の姿勢は変わりませんし、これから先も曲げてはいけない信念だと思っています。

私は星稜高校の出身です。星稜での高校3年間には、先生方をはじめとする多くの人たちからたくさんの愛情をもらいました。今振り返っても星稜の教育に感謝していますし、今は教員のひとりとして、そんな星稜の教育をしっかりと守っていきたいと思っています。これからもずっと、一人ひとりの心の成長をいちばんに考える教師でありたいんです。

この仕事に喜びを感じるのは、園児たちに「先生大好き」と言ってもらえた時です。こどもたちに愛情を注ぎながら、こどもたちからの愛情も感じられる。この仕事に就いてよかったと心から思える瞬間です。

いつまでもこどもたちと一緒に成長できる。
それが幼稚園教諭という仕事のやりがいです。

金沢星稜大学

祝☆全国大会出場・入賞！

星稜コレアレ

■ソフトテニス部
第67回国民体育大会
ソフトテニス競技　出場
【成年女子ダブルス】
・丸谷　幸代（人間科学部4年次）

■硬式テニス部
平成24年度全日本学生テニス選手　権大会　出場
【男子シングルス・ダブルス】
・大蔵　圭祐（経済学部4年次）

■空手道部
平成24年度全日本大学空手道選手権大会　出場
【男子団体組手】

■陸上競技部
天皇杯　第81回
日本学生陸上競技対校選手権大会
【男子】400ｍH　第8位
・西本　夏樹（人間科学部4年次）

星稜高等学校

■全国大会出場クラブ
男子陸上競技部／女子陸上競技部／男女トランポリン部／男子サッカー部／男子ソフトボール部／女子テニス部／レスリング部／男子剣道部／女子剣道部／男女体操部／男子少林寺拳法部／合唱部／吟詠剣詩舞部／囲碁部／天文部／かるた部

■全国大会激励会

星稜中学校

■サッカー部
全国ベスト4入り！

■野球部
全国大会準優勝！

■五島莉乃さん（3年）
女子1500m、第７位！

大 就活クルーズ研修「ほし☆たび北海道2012」〜海を越えジブンを超える2泊3日〜

今回で4回目となるほし☆たび。これまでで最も参加人数が多い1〜3年次54人、就活を無事終えた4年次12人合計66人と共に、8月29日（水）名古屋港より乗船しました。今回のテーマは「たった3日間で人生が変わる」。これに基づき凝縮した研修の中で、今後の学生生活、就職活動、そして社会に出ても役に立つ学びを各自が得たはず…ほし☆たびに参加した本当の意義は、下船した後にあります！参加者全員の今後に乞うご期待！

ほし☆たび参加者の感想

経済学部経済学科3年次
澤田　昭宏

私は今回参加したことで、積極性がつきました。元々そんなに積極的な人間ではなかったのですが、グループディスカッションで自ら進んで司会をしたり、就職活動を勝ち抜いた先輩方に自分から質問することで今までにない経験ができたり、就職活動で勝ち抜く術を学ぶことができました。ほし☆たびが終わった今、何でも積極的に行動することを心掛けていきます！

経済学部経済学科2年次
中川恵里花

この旅では主に3つのことを学びました。1つ目は模擬面接より第一印象が一番大切だと学びました。「元気」と「笑顔」は必要不可欠だと分かりました。2つ目は自己分析により自分を見直すことができました

3つ目はグループディスカッションにより少人数で話し合う中で、協調性が必要だと学びました。また発言力をつけることもできました。以上のことにより、ほし☆たびは楽しく学べる最高の旅でした！

大 カナダでの留学生活を満喫！

今年度から、カナダにあるナイアガラカレッジへの長期留学プログラムがスタートしました。9月初めから来年の4月までの約8カ月、カナダのナイアガラカレッジに2名の学生が留学しています。ナイアガラの滝にもほど近く、観光業が大変盛んな場所で、2名の学生は、ホームステイしながら、ナイアガラカレッジに通う学生たちとともに経済・経営関係の科目を受講し、充実した学生生活を送っています。

現地で取得した単位は、本学の卒業に必要な単位として認められ、また、IELTSで基準点に達し、本学が指定する基準をクリアできれば本学独自の奨学金も給付されます。

英語に興味があるみなさん、将来は英語を活かした仕事に就きたいと思っているみなさんは、ぜひIELTSを受験して、長期留学プログラムに挑戦してみてはいかがでしょうか？

Niagara College Canada
http://www.niagaracollege.ca/

留学に関するお問い合わせ
金沢星稜大学学生支援課
（TEL076-253-3925）

短 星短で七夕〜願いを込めて短歌を読んじゃおう〜

7月7日（土）、SeiTan Act!「星短七夕〜願いを込めて短歌を読んじゃおう〜」を開催しました。この日のために、スタッフの学生たちは1週間前に近くの山から大きな笹を切り出し、色とりどりの七夕飾りを施して、学生や教職員が短冊を吊しました。

Act!の当日は、平安貴族にならい、五・七・五・七・七の短歌調で願いを筆でしたためました。学生たちは「内定ほしい！」「素敵な出会い！」をうまく詠み込んでいました。また、奈良の昔から七夕と深いゆかりのある素麺を、流しそうめんにしていただき、今まで知らなかった七夕にまつわる風習にふれた、よい機会となりました。

短 被災地の現状を知る震災ボランティア活動に参加

9月12日（水）〜15日（土）の日程で、昨年に引き続き、東日本大震災および津波の被災地、宮城県気仙沼市本吉地区を拠点としてボランティア活動を実施しました。災害対策に詳しい沢野伸浩准教授の引率で、2年生の川島典子さん、山内あゆみさん、1年生の石井美和さん、北川真理奈さん、杉田　彩さん、中野瑞巴さん、平田瑞季さんが参加しました。

小学校につながる仮設の橋の清掃や、NPOが建てた復興支援機構の床のワックスがけを手伝いました。近くのお寺でお昼をいただいた際に、住職の「ようやく復興が進んできた証として、明日、震災後初めての葬式を出すことができます」との言葉に、学生一同、被災地の本当の現状の一端を見た思いがしました。

来年も是非、この活動を通して、学生たちに得難い経験をしてもらいたいと思います。

三陸大津波の際に建てられた「地震が来たら津波も来る」の石碑の前で。

短 星短生が、8月の穴水町で地域貢献事業を実施！

大学コンソーシアム石川の平成24年度・地域貢献型学生プロジェクト推進事業に採択され、8月9日（木）〜10日（金）に石川県穴水町において、「星短生が女性目線でチェック！穴水町の観光スポット採点」を実施し、学生12名と上田卓爾教授、事務局の高村久司課長が参加しました。

穴水町の観光スポット、能登大仏⇩勅定山来迎寺⇩潮騒の道⇩立戸の浜⇩能登ワイン⇩能登中居鋳物館の6か所をくまなくチェックしました。穴水産ブドウのワインを製造・販売する能登ワインでは、大きなワインタンクや広大なブドウ畑を見学し、地元ブラ

ンドでの地域活性化への取り組みについて聞きました。
この事業は、晩秋に再び穴水町を訪れ、季節による観光ポイントのチェックを行い、来年2月に発表することになっています。

短 能登の海でダイビング実習

日本でも有数のダイビングスポットとして知られている能登島の海を舞台として、石川県内の自然の豊かさを体感し、スキューバダイビングを通してマリンスポーツの素晴らしさを実践的に学ぶための集中講義が行われました。
学生たちは9月13日（木）から16日（日）3泊4日間の日程で能登島で合宿を行い、救急対応なども含めたスキューバダイビングの基礎をしっかり学びました。合宿形式で普段の授業とは違う体験をして、学生たちには貴重な学びの機会となりました。

高 全国大会出場！星稜の名を轟かせる！

7月19日（木）終業式の日に、全国高等学校総合体育大会・総合文化祭等の出場18団体110名の激励会が行われました。干場久男校長、小川榮一同窓会長より激励の言葉を受けました。続いて生徒会長の山岸司さん（3年）より応援の言葉、出場者代表として体操部が実演を行い、男子陸上競技部の上松涼太郎さん（3年）がお礼と決意を述べました。
なお、女子トランポリン部が団体で優勝、個人男子で白坂健志さん（3年）、個人女子で角田瑞希さん（3年）が優勝、また女子シンクロで角田さんと村上碧さん（2年）が優勝しました。
また、女子陸上競技部の廣瀬亜美さん（3年）が女子3000mで6位に入賞し、1500mでは9位でしたが石川県高校記録を塗り替え、社会人も含めた石川県記録を17年ぶりに更新しました。

高 海外語学研修

7月25日（水）～8月5日（日）、2年生男子6名女子11名の合計17名が、オーストラリアのゴールドコーストへ語学研修に行きました。現地の語学学校に通いながら、ホストファミリーの家での生活を体験しました。英語漬けの毎日を過ごしましたが、時にはコアラやカンガルーに癒されました。初めての海外生活を通して、日本の家族、日本の生活を思った語学研修でした。

高 1年関東方面大学見学会 2年関西方面大学見学会

8月4日（土）・5日（日）、1年生9名が関東方面大学見学会に、8月2日（木）・3日（金）、2年生62名が関西方面大学見学会に行きました。
1年生は早稲田大学、横浜国立大学、東京大学の3つの難関大学を見学し、2年生は京都大学、大阪大学の見学と、駿台予備校の進学講演会を聴講しました。歴史と伝統のある大学を直接体感し、将来の夢の実現に向けて勉学に打ち込むことを誓いました。

高 1・2年Pコース 課外実習

8月28日（火）・29日（水）、1年Pコース86名が白山登山、2年Pコース94名が岐阜県長良川へ課外実習に行きました。1年生は室堂で宿泊し、翌日早朝4時半に起床して御来光を拝みました。霊峰と呼ばれる白山の登頂に成功し、御来光を拝んだ時は清々しさでいっぱいになりました。
2年生は、8人乗りゴムボートで激流を下るラフティングと、急流を泳いだり、岩の上から飛び込んだりするシャワークライミングの実習をしました。大自然とのコミュニケーションを思う存分味わった実習となりました。

高 2度目の世界挑戦！

9月7日（金）・8日（土）、ポルトガル・ローレで行われたFIGワールドカップポルトガル大会に、角田瑞希さん（3年）が昨年のイギリスに続き、2度目の世界大会に出場しました。
角田さんは全国大会で3冠を達成し、日本代表に選ばれました。出場に先立ち、8月30日（木）、干場久男校長より激励の言葉と激励金が贈られました。年齢制限のない世界の強豪たちが揃う中で、日本代表としてベストを尽くしました。

中 12回目の合唱コンクール

7月13日（金）、毎年の恒例の行事となりました合唱コンクールが稲置講堂で行われました。高校合唱部のオープニングに始まり、課題曲「手紙～拝啓 十五の君へ」と自由曲一曲のクラス発表に続き、金沢ジュニアオペラスクール所属の新谷みづきさん（高校1年）と和田真桜子さん（3年）の重唱により締めくくられました。コンクールが終わった後も、教室から余韻の歌声が響いていました。

最優秀賞　3年B組　Story
優秀賞　3年A組　想い出がいっぱい
敢闘賞　2年B組　ハナミズキ
ハーモニー賞　2年A組　あとひとつ
ユーモア賞　1年A組　君をのせて
ファイティング賞　1年B組　YELL

中 野球部 全国大会準優勝！

2012（平成24）年度全国中学校体育大会において、野球部が準優勝しました。8月21日（火）、4年ぶりの優勝をかけ決勝に望みましたが、学文（兵庫）に延長八回5－6のサヨナラ負けを喫し、無念の準優勝となりました。翌日、理事長室にて準優勝の報告をしました。

稲置美弥子理事長より労いの言葉をかけられ、主将の佐竹海音さん（3年）は、高校に上がってから甲子園で無念を果たすことを誓いました。

中 サッカー部 全国ベスト4入り！

2012（平成24）年度全国中学校体育大会において、サッカー部がベスト4に入りました。8月22日（水）、2連覇を目指して青森山田（青森）と準決勝に望みましたが、1－4で負けました。翌日帰ってきたサッカー部員たちは、先生方の手作りの看板と、大勢の保護者の方々、準優勝した野球部員たちに出迎えられました。高光哲也副校長より労いの言葉をかけられ、キャプテンの坂口瑠久さん（3年）は、たくさんの方々の応援に感謝し、今まで以上に練習に励むことを誓いました。

中高 7月からの主な部活動成績

星稜高等学校

平成24年度全国高等学校総合体育大会
- 女子1500m
  - 第9位　廣瀬　亜美　石川県新記録
- 女子3000m
  - 第6位　廣瀬　亜美
- 第37回全国高等学校トランポリン競技選手権静岡大会
- 団体競技　女子の部
  - 優勝　角田　瑞希、村上　碧、佐竹　玲奈、平野　里歩
- 個人競技　男子の部
  - 優勝　白坂　健志
- 個人競技　女子の部
  - 優勝　角田　瑞希
  - 第2位　佐竹　玲奈
- シンクロ競技　男子の部
  - 第2位　谷口　遼平、白坂　健志
- シンクロ競技　女子の部
  - 優勝　角田　瑞希、村上　碧
- 男子最高演技点賞　谷口　遼平
- 女子最高演技点賞　佐竹　玲奈
- 第94回全国高等学校野球選手権石川大会
  - 第2位
- 第21回全日本高等学校女子サッカー選手権石川大会
  - 優勝
- 平成24年度石川県高等学校新人体育大会
- 第54回石川県高等学校新人陸上競技大会
- 男子総合
  - 優勝
- 女子総合
  - 優勝
- 男子トラック
  - 優勝
- 女子トラック
  - 優勝
- 女子フィールド
  - 優勝
- 男子100m
  - 優勝　管野　大輔
- 男子200m
  - 優勝　管野　大輔
- 男子1500m
  - 優勝　福田　裕大
- 男子5000m
  - 優勝　福田　裕大
- 男子3000mSC
  - 優勝　井水　啓人
- 男子4×100mリレー
  - 優勝　畑谷　大誠、管野　大輔、村田　光、叶井　賢太
- 男子4×400mリレー
  - 優勝　管野　大輔、叶井　賢太、貢輔、松田　勇祐
- 男子走幅跳
  - 優勝　清水　奨太
- 男子三段跳
  - 優勝　清水　奨太
- 女子100m
  - 第2位　秋田　理沙
- 女子200m
  - 優勝　秋田　理沙
- 女子400m
  - 第2位　表　遥香
- 女子800m
  - 第2位　高田　実幸
- 女子1500m
  - 優勝　高野　みちる
- 女子3000m
  - 優勝　濱田　優理
- 女子400mH
  - 優勝　英　未来
- 女子5000mW
  - 優勝　濱田　優理
- 女子4×400mリレー
  - 第2位　佐伯　彩夏、英　未来、秋田　理沙、表　遥香
- 女子走幅跳
  - 優勝　渡邊　夏帆
- 女子やり投
  - 優勝　折戸　智恵
- 女子走高跳
  - 優勝　長谷川　ひかり
- 女子七種競技
  - 優勝　英　未来
- 第15回石川県高等学校新人ゴルフ選手権大会
- 男子個人
  - 第2位　中嶋　晃哉
- 平成24年度石川県高等学校新人体育大会
- □テニス競技
- 女子団体
  - 優勝
- 女子シングルス
  - 優勝　片口　夢
  - 第2位　木村　優布子
- 女子ダブルス
  - 優勝　片口　夢、木村　優布子
  - 第2位　齊藤明日香、中川　愛菜
- □水泳競技
- 男子50m平泳ぎ
  - 第2位　布島　惇貴
- 女子100m自由形
  - 優勝　飯田　彩乃
- 女子100m背泳ぎ
  - 第2位　西村　友希
- 第15回Wrestling Tournament志賀大会
- 55Kg級
  - 優勝　粟　晋太郎
- 60Kg級
  - 優勝　中村　優太
- 66Kg級
  - 優勝　喜多　亮介
- 平成24年度石川県高校総文美術展
- □書道部門
  - 優秀賞　秋田　早智
- 第20回石川県高等学校声楽コンクール
  - 優秀賞　二宮　由佳
  - 最良賞　西田　創
  - 第6位　新酒　拓

星稜中学校

平成24年度全国中学校体育大会
- □陸上競技
- 女子1500m
  - 第7位　五島　莉乃
- □野球競技
  - 第2位
- □サッカー競技
  - 第3位
- 平成24年度金沢市中学校秋季新人競技大会
- □野球競技
  - 優勝
- □サッカー競技
  - 優勝
- □剣道競技
- 男子代表の部
  - 第3位　北川　敬裕
- □陸上競技
- 女子800m
  - 第3位　清水　有咲
- 女子3000m競歩
  - 優勝　柿本　清美

星稜幼稚園 ☆運動会『はりきりピック』☆

この夏のロンドンオリンピックでの選手の活躍は、子どもたちにも大きな夢と感動を与えたようです。今年の幼稚園の運動会は、そんなオリンピックをイメージして『はりきりピック』と名付けました。

はりきって競技に参加したり、クラスや学年のみんなとはりきって力を合わせたり…。そして、万国旗やトーチ、応援旗など、運動会に必要なものもはりきって作りました！子どもたちはもちろん、お父さん、お母さん♪おじいちゃん、おばあちゃん♪お兄ちゃん、お姉ちゃん♪弟や妹も♪みんなが、金メダルよりまぶしく輝いていました。

星稜幼稚園 泉野幼稚園 ☆夏まつり☆

夏まつりに近所の方に来て頂こうと、みんなでポスターやチラシを作りました。泉野図書館や近くのおうち等へ、貼ってもらうために年中組と年長組とで手分けをして、持って行きました。

当日は、おうちの方や先生たちのお店や大学生の劇を楽しんだ後、園庭で大きな輪を作り盆踊りを楽しみました。銀行の方や近所の方も来て下さり楽しんでいかれました。

☆サンサンキッズ☆

夏休みに入ってから〝サンサンキッズ〟がありました。ある日は流しそうめん。流れるそうめんをなんとかすくって食べれたよ。ある日は、ボディペインティング。顔や手足にどんどん塗って大変身。ある日は、小学生のお友だちと一緒にTシャツづくり（キッズあーとクラブ）。世界に1枚しかない自分のTシャツの出来あがり。

普段なかなか経験できないことを楽しみました。

『親業』支援コラム

オトナのミカタ

子育ての締めくくりは「就活支援」！

～こんな親では就職できない!?～

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 進路支援センター 進路課
福田眞優　道下知子

金沢星稜大学では、保護者による就職支援を強く推奨しています。現代の就職活動では、保護者の役割も非常に重要になっているからです。昨今の就職戦線は、保護者の皆様が就職活動を行った時代とは何もかもが変わっていると言ってもいいでしょう。今回は、お子様の就職活動を成功に導くために「保護者がしてはいけないこと」という視点からお話をしたいと思います。

「就活生に保護者がしてはいけないこと」その具体例と理由

ケース1　「経済的援助をしない」

リクルートスーツや靴・カバンなどの初期費用はもちろん、必須となるパソコンやスマートフォンの費用、説明会や面接に行くための交通費や宿泊費など、就活にはさまざまな出費が伴います。本学でも過去、交通・宿泊費などの活動費用が60万円を超えたという学生がいました。これは、説明会や選考会が東京や大阪まで行かないと受けられない企業があるからです。

就職活動が始まればアルバイトを続けるのは困難になります。将来を決める就職活動に必要な費用は、保護者が用意してあげるものです。奨学金（貸与型）などの方法もあります。

ケース2　「コネの話をする」「フリーターでもいいと言う」

「○○にコネがある」や「しばらくはフリーターでもいいよ」などと安易にお子様に伝えてしまう保護者の方もいます。辛く不安な就職活動に逃げ道があると思えば、心に甘えが出てしまうのは当然のこと。そして甘えを持った学生は中途半端な就職活動を行い、最終的に就職先が決まらず卒業していく学生が多いです。

この時代に100%確実なコネなどそうあるものではありません。また社会人としてのスタートがフリーターだと、その後の巻き返しや正社員になることは非常に困難なのが現代の社会です。

ケース3　「公務員を目指せと言う」

お子様に安定した生活をしてほしいと願えばこそ「公務員になってくれたら」と考える保護者の方も多いことでしょう。しかし、就職活動が始まる時期になって突然「公務員を受けたら」と促すのは大きな問題です。

金沢星稜大学のCDP公務員コースでは、公務員を目指す学生が「1年次から」「夜遅くまで」3年半もの時間をかけて公務員になるための勉強に取り組んでいます。公務員は、そこまで熱心に取り組んでようやく合格できるかどうかという難関試験。付け焼き刃の勉強をしてなれるものではありません。

保護者ができる最大の応援。それは「肯定してあげること」。

では、保護者にできる応援とは何なのでしょうか。そのひとつは「お子様を肯定してあげること」です。今、学生がアプローチする企業数は平均40社と言われており、優秀な学生でもそのほとんどから不採用の結果を突きつけられる厳しい状況です。

何十社という企業から「否定」されてしまう学生たちの気持ちを思うと、非常に辛いものがあります。だからこそ保護者の方には、ぜひお子様を「肯定」してあげていただきたいのです。お子様の強みや長所、得意なことをいちばんご存知なのは、20数年見守り続けてきた保護者の皆様です。ぜひ厳しい環境に身を置くお子様の心の支えになってあげてほしいと思います。

金沢星稜大学の新館建設に伴い、進路支援センターはキャリアデザイン館3Fにリニューアル移転しました。保護者の方からの就職相談も積極的にお受けしています。お子様の就職活動に満足できる結果が得られるよう、保護者の皆様と私たち職員とがパートナーとなり、しっかりとサポートしていきましょう。

就職に関するご相談・お問い合わせは
金沢星稜大学 進路支援センター
TEL：076-253-3918

お子様の就職に関するご相談や新しい施設の見学など気軽におたずねください。

就職活動の「今」を知る 保護者のための就職ガイダンス

■ 2013年2月17日(日)開催

金沢星稜大学では、1～3年次の保護者の皆様を対象に、わが子の就活を正しくサポートするためのガイダンスを実施しています。ガイダンス終了後には同日に実施されている学内合同企業説明会に保護者の皆様もご参加いただくことができます。

※金沢星稜大学の保護者の方が対象となります。
※詳細はあらためてご案内いたします。

■ 就職応援サイト「ほしなび」もご覧ください。https://www.hoshinavi.jp/

総合研究所・地域連携センターだより

総合研究所

地域を生きた教科書に、学生の活動が展開されています。

大学コンソーシアム石川の平成24年度採択事業に、本学の地域活性化に対する取り組み4件が採択されました。

■地域課題研究ゼミナール支援事業

地域課題研究ゼミナール支援事業は、地域（市町のほか、商工会などの各種団体、NPO法人など）が持つ課題等について、その解決方策を提言する大学等のゼミナールを大学コンソーシアム石川が選定し、それらの研究活動に対して助成するものです。

当該地域の調査や地域の方々との意見交換等を通じて学生の実践的な問題解決能力を養うとともに、高等教育機関の活性化と地域と大学の交流の拡大を図っていきます。

人間科学部教授
池田　幸應

■事　業　名

穴水町の里山里海環境を活かしたスポーツ・ツーリズム推進策の検討

■活動内容

過疎高齢化地域においては、スポーツによる地域高齢者の健康や体力の保持・増進を図るだけではなく、子どもたちや町外からの交流人口の増加も視野に入れた総合型地域スポーツクラブの設立が期待されます。

このことから、既存の運動・スポーツ施設の利活用とスポーツ・ツーリズムの視点から、里山里海の地域環境（自然環境）を活かしたソフト・ハード面の利活用によるクラブの設立を、全国的に先駆けてその可能性について検討・提案します。

地域住民や行政・団体と協働して調査・活動等を行い、“過疎高齢化”に負けない持続可能な地域づくりの一役を担うことを目指します。

経済学部教授
大薮多可志

■事　業　名

北陸新幹線加賀温泉駅整備及び総合新病院の開業を見据えた加賀市地域交通体系の再構築

■活動内容

新幹線開業による加賀市における首都圏からの観光客の二次交通と、地元住民の利便性を考慮した地域密着型の一次交通システムの融合について調査研究を行います。訪問人口の増加に配慮しながら、観光、通院、買い物の三分野において交通ソフトインフラ面から地域住民の生活を支援する効率的なシステムを提案します。

多くの地方で抱える本課題について、観光者と地域住民の“足”を守る一つのモデルとなるよう取り組んでいきます。

■地域貢献型学生プロジェクト推進事業

地域貢献型学生プロジェクト推進事業は、地域のニーズと学生の社会への参加意欲のマッチングにより、地域の活性化を推進する活動を行う大学等の学生グループを大学コンソーシアム石川が選定し、それらの地域貢献活動に対して助成するものです。

学生の地域貢献活動を通して地域と学生の交流を促進し、地域の活性化を図っていきます。

人間科学部教授
池上　奨

■事　業　名

案山子の作成と設置を通じて能登文化の再認識と継承を行い、地域の共同体活動を活性化させる為の取組み

■活動内容

珠洲市横山地区に10年に渡り設置されてきた、夏の代名詞「人間そっくりなリアルな案山子」を地域の方々と共に作成します。

活動を通して、伝統文化の継承、更なる地域資源の再認識を行うとともに、新たな共同体験活動を行うきっかけづくりとし、観光面からも珠洲市をアピールできる活動につなげることを目指します。

金沢星稜大学
女子短期大学部教授
上田　卓爾

■事　業　名

星短生が女性目線でチェック！穴水町の観光スポット採点

■活動内容

観光客の誘致を考える場合、女性の嗜好を把握することが重要なポイントとなります。そこで、穴水町の既存の観光スポットを、星短生が若い女性の目線で採点し、その結果を具体化（可視化）することにより、穴水町への来訪者増加策を提言します。さらに潜在的な観光資源の指摘や効果的なキャッチコピー案等の提案を行います。

地域連携センター

さまざまな活動を通して、地域とのつながりを深めていきます。

能登キャンパス学生課外活動事業

能登“祭りの環プロジェクト”

（能登キャンパス構想推進協議会委託事）

このプロジェクトは、能登地域「輪島市」「珠洲市」「穴水町」「能登町」の4市町で行われる祭りへの参加を通して、学生がその地域の特性、魅力、祭りの背景・実態及び地域の課題等について学ぶとともに、奥能登地域の魅力の発信、伝統文化の継承、地域課題への解決策等に取り組みます。

「地域連携・交流かぶと」を拠点とした総合型地域連携推進事業

（石川県地域連携促進事業採択・高等教育機関連携特別枠）

この事業は、本学が穴水町の「地域連携・交流センターかぶと」を拠点とした学生の体験交流活動と併せて、同町の諸団体で構成する「総合型地域連携ネットワーク推進協議会」と連携し、各事業の全町的な継続、推進に協力することで地域の活性化を目指します。

学生等災害ボランティア中核的人材養成事業

（財団法人石川県ボランティアセンター委託事業）

この事業は、東日本大震災からの教訓を踏まえ、大学コンソーシアム石川シティカレッジの講義を通して、災害ボランティアの若手リーダーの育成と、大学や企業等との連携を密にした被災時に即応できる新たな災害ボランティアネットワークの構築を目指します。

学園創立80周年記念事業「寄附金募集」について

本学園は、平成24年（2012年）に創立80周年を迎えるにあたり、学園各設置校に在籍する学生・生徒・園児が満足な学園生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備・改善、就学援助の充実、課外活動の支援等に取り組んでいきたいと考えております。これらの取り組みのため、同窓生・保護者・教職員並びに有志の皆さまから広くご寄附を募ることとなり、平成23年2月より寄附金募集を開始いたしました。趣旨にご賛同いただいた多くの皆さまからのご厚意に心より感謝申し上げます。

寄付金は平成24年9月末まで実施いたしました。

集計結果につきましては、次回星稜サ・エ・ラ27号にて発表させていただきます。

学校法人稲置学園理事長　　稲置　美弥子
学園創立80周年記念事業企画・実行委員長
学校法人稲置学園理事　　稲置　慎也

■寄附者ご芳名掲載者数

2012.6.1 ～ 2012.8.31受付分

区　分	公表&匿名 総　数	内　訳 6月	7月	8月	備　考
同窓会	公表：33 匿名：6	公表：8 匿名：1	公表：9 匿名：0	公表：16 匿名：5	
保護者会	公表：80 匿名：53	公表：3 匿名：1	公表：32 匿名：15	公表：45 匿名：37	
一般（個人・法人）	公表：9 匿名：3	公表：4 匿名：1	公表：2 匿名：2	公表：3 匿名：0	
旧職員	公表：1 匿名：0	公表：0 匿名：0	公表：1 匿名：0	公表：0 匿名：0	
学園役員・職員	公表：13 匿名：4	公表：2 匿名：1	公表：5 匿名：0	公表：6 匿名：3	
合　計	公表：136 匿名：66 （計 202）	公表：17 匿名：4 （計 21）	公表：49 匿名：17 （計 66）	公表：70 匿名：45 （計 115）	

【注1】 各区分の氏名公表者（掲載者名）は、別紙「一覧表」を参照
【注2】 氏名の重複者（「寄附申込書」を同一区分で複数提出）は、1件として掲載
【注3】 連名による寄附者は、各々の氏名を掲載

■集計表

平成24年8月31日現在

区　分		寄　附　金 件　数	金　額
同窓会	1. 大　学	171	15,372,100
	2. 短　大	45	3,360,000
	3. 星　稜	362	13,891,000
	4. 実　践	97	1,507,000
	小　計	675	34,130,100
保護者会	5. 大　学	230	5,852,000
	6. 短　大	31	588,000
	7. 高　校	375	6,725,000
	8. 中　学	35	342,000
	9. 幼稚園	10	70,000
	小　計	681	13,577,000
一般	10. 個　人	31	580,000
	11. 法人（会社等）	55	16,570,000
	小　計	86	17,150,000
役員・職員	12. 学園役員	13	8,505,000
	13. 専任職員	123	7,810,000
	14. 旧役員・旧職員	24	1,700,000
	小　計	160	18,015,000
合　計		1,602	82,872,100

寄附者ご芳名（五十音順・敬称略／2012.6.1 ～ 2012.8.31受付分）

同窓会
㈱ステージアップ
荒山　善宣
石垣　壮人
石田　ひかり
井上　華
井口　祐希
岩脇　和哉
上田　奈津子
大友　佐俊
大山　聡
岡崎　佳幸
桶屋　義
表　直秀
加藤　一彰
釜井　亮
北　哲也
斉田　雄生
実践同窓会
新村　英敏
鈴木　斎義
高　俊博
高野　信子
高山　典子
釣見　有紗
中田　智也
中山　隆則
前田　利雄
松村　美奈子
南野　英二
南野　行紀
南野　吉信
山下　翔大
山下　靖
山本　想羽樹

保護者会
赤松　俊英
荒井　豊治
荒能　義彦
池内　充彦
池野　明夫
伊東　憲一
伊藤　衛
伊藤　嘉浩
稲場　恵三
今井　健一
今井　直人
岩淵　健一
卯坂　登志夫
太田　好治
大場　有一
笠嶋　四郎市
片岡　俊浩
金沢星稜大学稲友会
川上　伊久男
川端　宏二
川畑　慎也
川端　秀夫
河光　清
樹下　克則
木村　雅仁
木本　達志
久保　伸一郎
久保田　一暁
越柴　一良
小柴　三津夫
越村　達夫
小林　和弘
小松　潤
小山　敬二
酒井　達也
坂井　良教
坂下　茂伸
坂下　保
鷲池　誠一
作本　昌宏
佐々木　敬子
嶋田　弥嗣
嶋田　真由美
昌和工業㈱
高橋陽一
末田　常信
菅野　博之
杉本　義人
星稜中学・高等学校PTA
竹田　学
竹村　明子
玉谷　吉範
釣見　進一
寺井　知治
中野　瑞巴
中村　政弘
橋本　憲三
八野　吉明
浜上　洋之
浜田　誠一
坂東　琢麿
馬場　春雄
福田　修一
藤本　哲男
堀川　猛
前野　幸雄
松見　健
松村　裕子
村上　千馬
村上　和美
室木　俊則
森　喜久男
諸江　憲造
山下　真奈美
山本　誠道
山本　政人
横川　真一
吉田　裕二

一般（個人・法人）
アーク引越センター北陸㈱
西野　裕一
金沢信用金庫
忠田秀敏
㈱淺沼組　名古屋支店
河合　秀一
㈱浦建築研究所
浦淳
㈱カネヒサ
水戸敬修
㈱間組　北陸支店
高村　威至
㈱北陸銀行 東大通支店
上田祐正
㈱北國銀行　金沢城北支店
安宅建樹
㈱丸菱
米浜　俊一

旧職員
服部　治

学園役員・職員
井上　明浩
上田　奈津子
北浦　俊一
木村　正信
坂野　健夫
杉林　孝法
宋　涛
髙柳　美帆
高山　典子
俵　恵子
中本　義徳
向峠　日出雄

寄附者総数 1,602名
寄附金総数 82,872,100円

金沢星稜大学　学生歌入賞作品表彰式・記念演奏会

平成19年度から経済学部、人間科学部を合わせて総合大学として出発した本学は、完成年度2年目の今、新生の意味を込めて、永く歌い伝える学生歌を募集しました。

この度、公募作品の中から選ばれた学生歌をお披露目し、広く皆さまに知っていただく演奏会を開催いたします。どうぞ、この機会に本学の新しい学生歌をお聴きください。

■日時：平成24年10月21日（日）　13：00開場　14：00開演　■開場：稲置講堂（稲置記念館5階）

金沢星稜大学学内コンビニエンスストア『セブンイレブン星稜店』オープン!

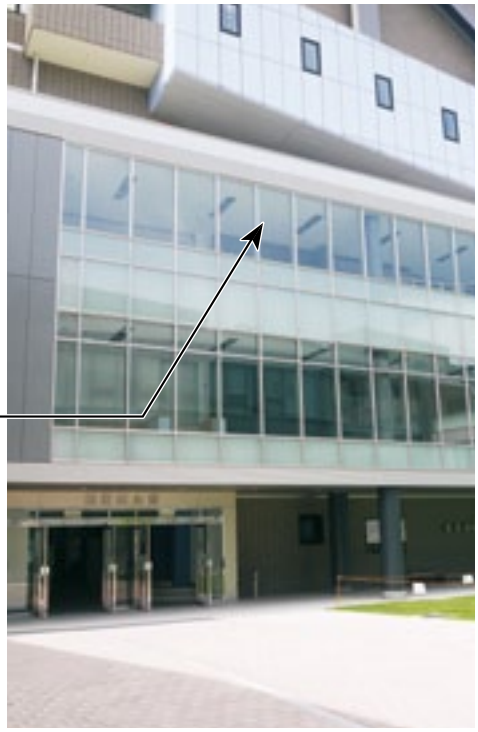
学校法人稲置学園創立80周年の記念事業である大学新校舎完成に伴い、学生の快適なキャンパスライフを支援するため、新校舎メディアライブラリー1階に『セブンイレブン星稜店』がオープンしました。

事務所移転のお知らせ

新校舎完成に伴い、大学事務局が本館より移転いたしました。事務局各課の移転先につきましては、以下の通りです。

■ 移転先一覧

進　路　課	キャリアデザイン館 3F
エクステンションセンター	キャリアデザイン館 3F
学生支援課	記念館 3F（旧図書館）
教　務　課	記念館 3F（旧図書館）
入　学　課	移動なし
広　報　課	移動なし



サエラ26号に関するアンケートへのご協力のお願い

先着100名様に
図書カードをプレゼント!

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、
本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着100名様に図書カード（500円分）をプレゼントいたします。
右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

http://www.seiryo.jp/

星稜サ・エ・ラ No.26 2012年10月5日発行
編集・発行／学校法人 稲置学園 石川県金沢市御所町丑10-1 TEL076-253-3908 http://www.seiryo.jp
編集責任者：長久保実（入学・広報センター長）
編集担当者：河崎健一郎、高佳奈、高島悠、高島裕子、高山典子、廿日岩暁子、春本裕雄
福田眞優、宮本翔悟、村上勝、山川洋亜

行事スケジュール（10月～12月）

金沢星稜大学

10	1日（月）・2日（火）	テキスト販売期間
	3日（水）・4日（木）	履修登録確認・修正期間
	5日（金）	創立記念日、学園創立80周年記念式典
		星稜教育シンポジウム
	6日（土）	国際シンポジウム
	16日（火）・17日（水）	履修登録削除期間（削除のみ）
	18日（木）	履修登録名簿配布
	21日（日）	学生歌入賞作品表彰式・記念演奏会
	26日（金）～28日（日）	流星祭
	29日（月）	休講日、日経テスト
	31日（水）	月曜代替講義日
11	22日（木）	金曜代替講義日
	28日（水）	補講日
12	2日（日）	ビジネス能力検定
	18日（火）	経済学部卒業研究発表会
		人間科学部　2・3年フィールド成果報告会
	28日（金）～1/4日金）	全館休館

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日（金）	創立記念日、学園創立80周年記念式典
		星稜教育シンポジウム
	6日（土）	国際シンポジウム
	13日（土）	オープンキャンパス
	26日（金）～28日（日）	流星祭
	29日（月）	休講日
	31日（水）	月曜代替講義日
11	22日（木）	金曜代替講義日
	28日（水）	補講日
12	18日（火）	補講日
	28日（金）～1月4日（金）	全館休館

星稜高等学校

10	5日（金）	創立記念日、学園創立80周年記念式典
		星稜教育シンポジウム
	6日（土）	国際シンポジウム
	9日（火）～12日（金）	中間試験
	15日（月）	追試
	22日（月）	1,2年　3年P総合学習（進路研究）
11	1日（木）～6日（火）	教育ウィーク（学校・授業公開）
	26日（月）～30日（金）	1年期末試験
12	1日（土）	1年追試
	3日（月）～7日（金）	2,3年期末試験
	4日（火）～7日（金）	1年修学旅行
	10日（月）	2,3年追試
	14日（金）・15日（土）	1,2年体育大会
	15日（土）	保護者懇談会（3年）
	17日（月）・18日（火）	保護者懇談会
	17日（月）	再試
	19日（水）	全国大会出場激励会・終業式
	20日（木）～26日（水）	1,2年補充・3年補習授業

星稜中学校

10	5日（金）	創立記念日、学園創立80周年記念式典
		星稜教育シンポジウム
	6日（土）	国際シンポジウム
	16日（火）・17日（水）	中間試験
	24日（水）	運動会
	25日（木）	運動会予備日
	29日（月）	3年補習（～1/25）
11	1日（木）～6日（火）	教育ウィーク（学校・授業公開）
	16日（金）	総合学習発表会リハーサル
	17日（土）	総合学習発表会
	18日（日）	学校見学会
12	4日（火）～6日（木）	期末試験
	7日（金）	体育大会
	15日（土）	講演会
	17日（月）・18日（火）	保護者懇談会
	19日（水）	終業式
	19日（水）～21日（金）	1,2年希望補習、3年補充授業

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日（月）	入園願書受付開始
	2日（火）	遠足（年少）
	3日（水）	遠足（年中）
	4日（木）	キッズサッカー（年中）
	5日（金）	創立記念日
	14日（日）	リトミック（年長）
	25日（木）	誕生会
11	2日（金）・3日（土）	第38回全日本教育工学研究協議会全国大会公開保育（金沢大会）
	7日（水）	星稜子育てステーション
	17日（土）	ミニバザー
	21日（水）	表現あそびの会
	22日（木）	表現あそびの会
	29日（木）	誕生会
12	1日（土）	入園説明会
	3日（月）	とらいランド参観（つき組）
	4日（火）	ABCランド参観（ほし組）
	5日（水）	避難訓練
	10日（月）	とらいランド参観（ほし組）
	13日（木）	もちつき会
	14日（金）	星稜子育てステーション
	15日（土）	個人懇談（年長）・リトミック（年中）
	18日（火）	ABCランド参観（つき組）
	20日（木）	クリスマス会・誕生会
	21日（金）	2学期終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	1日（月）	入園願書受付開始
	3日（水）	キッズサッカー
	4日（木）	遠足（年長組）
	5日（金）	創立記念日
	10日（水）	キッズサッカー
	11日（木）	遠足（年少組・いちご組）
	12日（金）	にこにこ参観①
	15日（月）	遠足（年中組）
		とらいランド参観　クラス懇親会（つき組）
	16日（火）	キッズサッカー
	17日（水）	にこにこ参観②
	18日（木）	キッズサッカー
	19日（金）	キッズサッカー
	23日（火）	にこにこ参観③
	24日（水）	卒園アルバム用個人写真撮影（年長組）
	25日（木）	誕生会参観
11	2日（金）・3日（土）	第38回全日本教育工学研究協議会全国大会公開保育（金沢大会）
	5日（月）	とらいランド参観　クラス懇親会（ほし組）
	6日（火）	避難訓練
	9日（金）	子ども相談
	14日（金）	あそぼ　お話＆相談（未就園児対象）
	17日（土）	親子でリトミック（年少組・いちご組）
	22日（木）	誕生会参観
12	1日（土）	子育て講演会
	6日（木）	表現あそびの会（つき組・ばら組・りす組・いちご組）
	7日（金）	表現あそびの会（ほし組・すみれ組・うさぎ組）
	13日（木）	誕生会参観
	14日（金）	あそぼ　お話＆相談（未就園児対象）
	15日（土）	同窓会
	18日（火）	もちつき会
	20日（木）	ハローサンタの会
	21日（金）	2学期終業式

あとがき

大学正面（大通り沿い）にメディアライブラリーが完成し、ようやく9月21日（金）に新図書館オープンを迎えました。学習に専念するための個人学習席やこれまでなかったグループ学習室を加えて座席は270席を備え、1F・2Fを吹き抜け空間にするなど開放感のあるつくりになっています。記念館3Fにあった旧図書館と比べて、講義室から直接図書館に向かう通路が整備され、使い勝手が格段にUPしました。また、学園創立80周年を迎え、様々な行事が予定されています。

学生・教職員ばかりではなく、保護者の方、一般の方もぜひお立ち寄りください。図書館スタッフ一同お待ちしております。

大学図書課　村上　勝

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町丑10-1
TEL076-253-3924（代表）
http://www.seiryo.jp

星稜高等学校
石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237（代表）
http://www.seiryo-hs.jp

星稜中学校
石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237（代表）
http://www.seiryo-hs.jp

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057（代表）
http://kinder.seiryo.jp/seiryo/

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636（代表）
http://kinder.seiryo.jp/izumino/

〈星稜サ・エ・ラ〉　サ・エ・ラ（ça et là）とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。